

PPI P-CABのフロー図

2023年 3月 第3版

PPI PCAB

(発売順・薬価2022.11)

オメプラゾール

先発品 (36.6-37.2円10mg/日)

後発品 (18.3円10mg/日)

ラベプラゾール

先発品 (61.5円10mg/日)

後発品 (13.8-34.4円10mg/日)

ランソプラゾール

先発品 (36.9円15mg/日)

後発品 (16.4円15mg/日)

エソメプラゾール

先発品 (57.6円10mg/日)

後発品 (26.8円10mg/日)

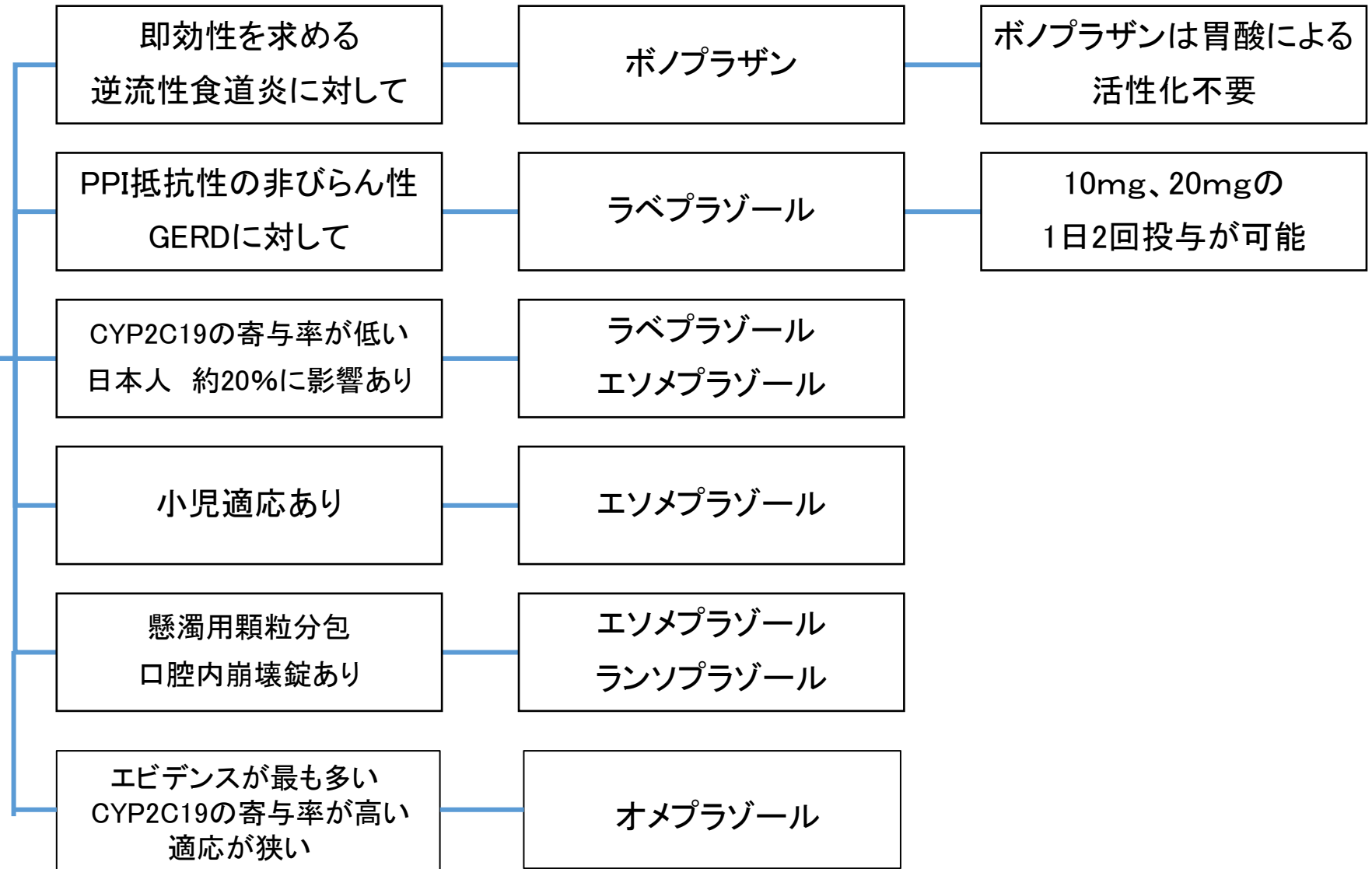
ボノプラザン

先発品 (130.3円10mg/日)

後発品 (なし)

PPIの間において潰瘍治療率に
差はない

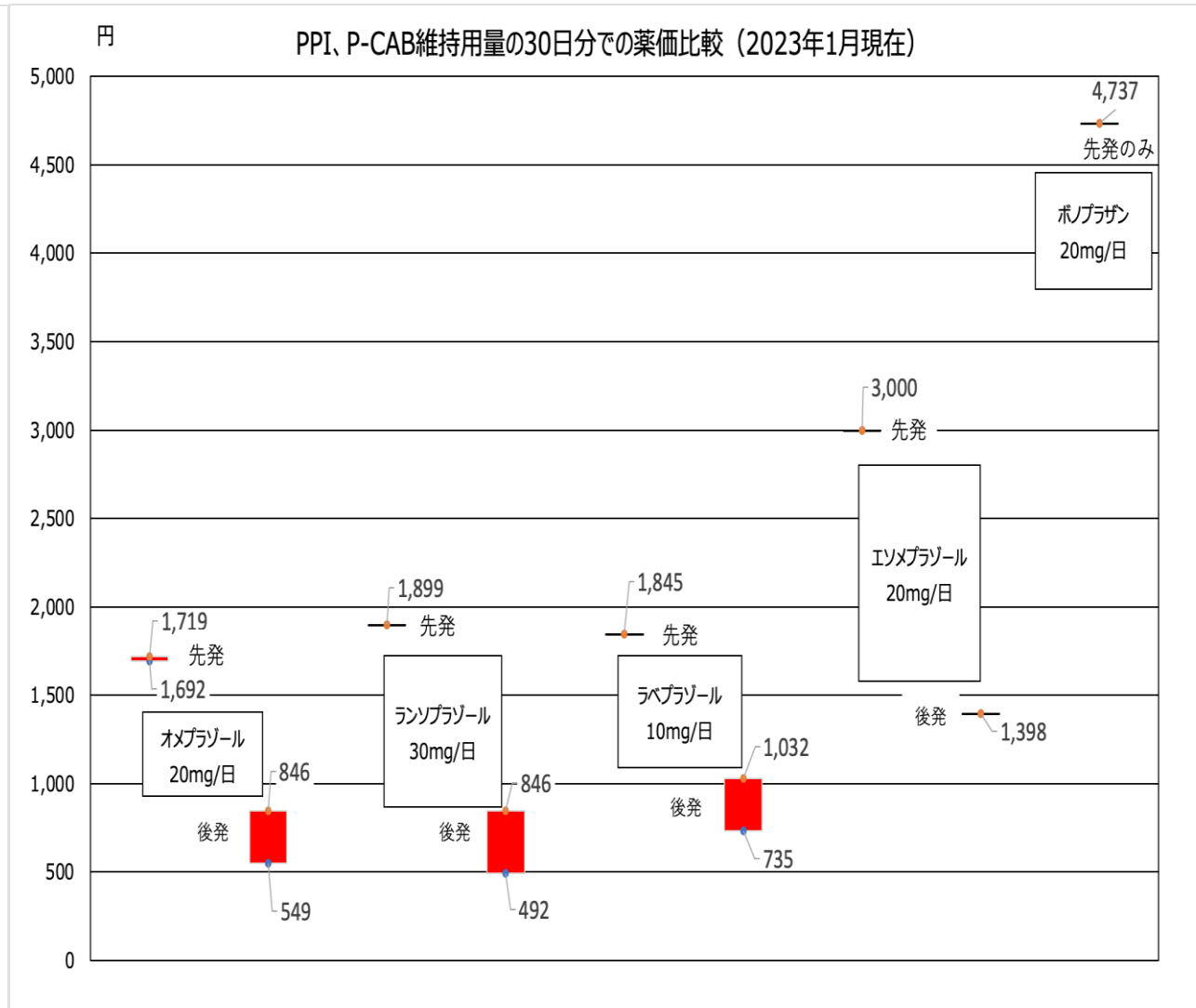
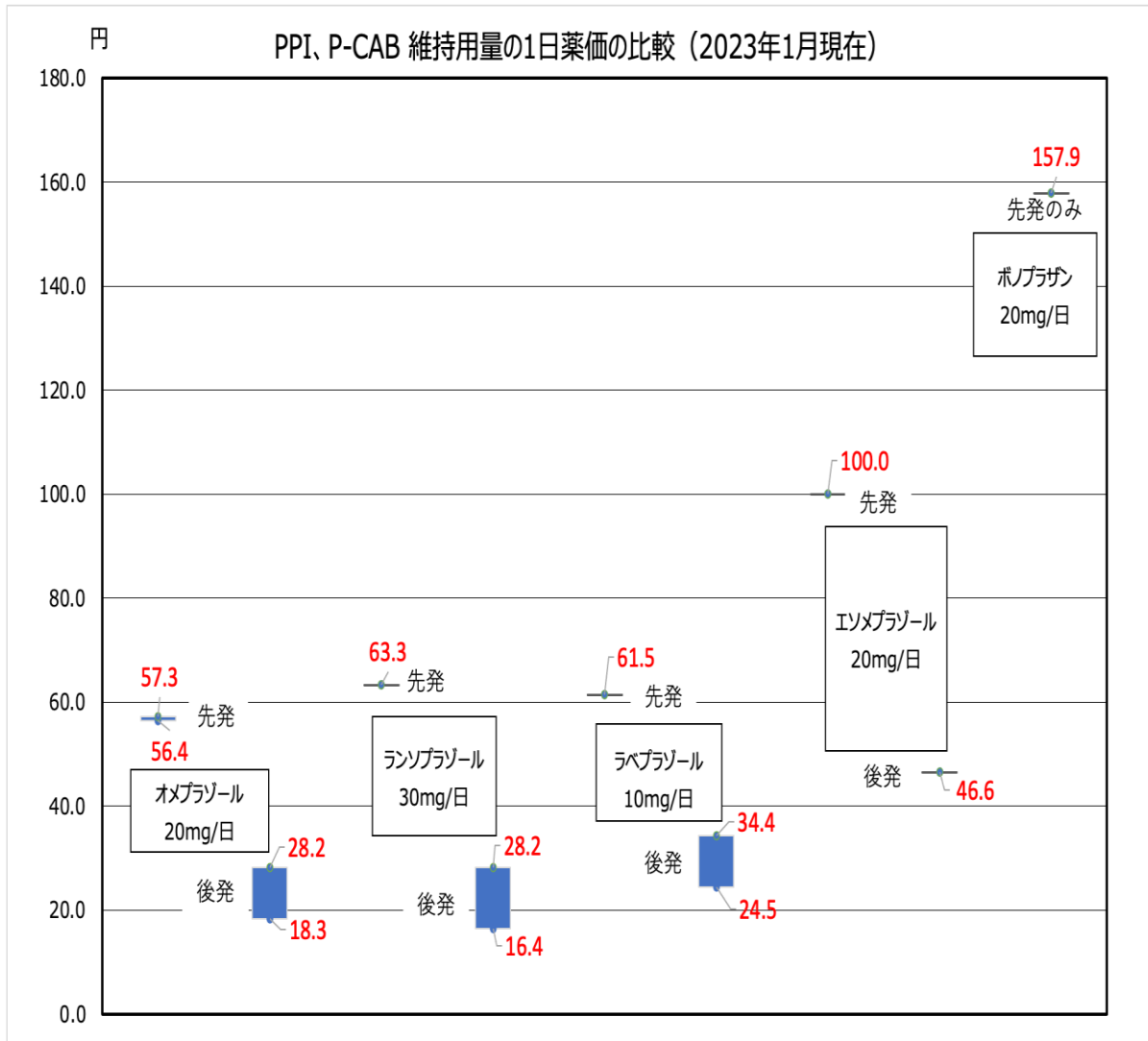
びらん性GERDの初期治療について、
各PPIの間で効果の有意差は認められない



消化性潰瘍診療ガイドライン2020
GERD診療ガイドライン2021参照

PPI P-CAB 薬価比較グラフ

同一成分でも薬価に差があり、棒グラフとして表した。



効能・効果		第一推奨薬	第二推奨薬
NSAIDsの投与時のDU、GUの再発抑制		ランソプラゾール(タケプロン®)	ボノプラザン(タケキャブ®)
胃潰瘍(GU)		ランソプラゾール(タケプロン®)	* 早期の症状緩和が必要な場合 →症状改善後は第一推奨薬への変更を検討すること * 「吻合部潰瘍」「Zollinger-Ellison症候群」「非びらん性食道逆流症」の適応はない
十二指腸潰瘍(DU)		ランソプラゾール(タケプロン®) * 口腔内崩壊錠あり	
吻合部潰瘍		ラベプラゾール(パリエット®) * 薬物相互作用が懸念される場合 * CYP2C19の寄与率が低い * 効果不十分時、1日2回投与可能	
Zollinger-Ellison症候群			
非びらん性胃食道逆流症		エソメプラゾール(ネキシウム®) * 懸濁用顆粒分包あり * 小児適応あり * CYP2C19の寄与率が低い	
低用量アスピリン(LDA)投与時のGU,DUの再発抑制			
逆流性食道炎	軽症	PPI・ボノプラザン(タケキャブ®)	ボノプラザンはPPIと比較して薬価が高い
	重症	ボノプラザン(タケキャブ®)	

※PPI間において、潰瘍治癒率の差はありません。
 ※びらん性GERDの初期治療において、各PPI間で効果の有意差は認められません。
 ※各適応症ごとに用法用量が異なりますので、ご注意ください。

参考
 消化性潰瘍診療ガイドライン2020
 GERD診療ガイドライン2021

PPI 推奨後発品

ラベプラゾール:

「サワイ」「トーワ」「YD(陽進堂)」

ランソプラゾール:

「サワイ」「トーワ」「武田テバ」

エソメプラゾール:

「トーワ」「サワイ」「ニプロ」